



藤原 和範 議員

質問 横高の生徒確保支援への取り組みは

町長

魅力化の実現に向け、可能な限りの支援をしていく



稲田ヶ丘にそびえ立つ横田高校
生徒確保の支援を

質問 横田高校の存続への対応策として、新しい戦略の立案と実行が必要と、今年度から新たに取り組みまれている「横高魅力化ビジョン」の概要は。

町長 横高は「未来を担う人づくり」の核として、地域の発展に必要な不可欠である。高校のみならず、地域が一体となって魅力化を進める必要がある。

質問 今後の横高生徒確保支援への取り組みは。

町長 ビジョンに掲げられている施策の推進、魅力化の実現に向け、可能な限りの支援をしていきたい。

質問 木次線の存続のためにも、トロッコ列車の運行継続に向けた取り組みを強化すべきだ。

町長 人気の観光列車として、年間13,000人の方に利用いただいているが、すでに20年が経過し、車両の老朽化が進んでいる。トロッコ列車は木次線利用促進と地域活性化の要であると共に、重要な観光資源であり、引き続き島根県とJRに対して運行継続を強く要望していく。

横田高校入学者数【直近3カ年】

	(単位:人)		
	H27年入学	H28年入学	H29年入学
仁多中学校	32	29	25
横田中学校	42	58	47
町外(県内)	1	4	9
県外	5	4	10
計	80	95	91

「日本次線の利用促進について」

質問 利用促進に向け、沿線の事業所や企業に「フーマイカード」を呼びかけては。

町長 駅からの移動手段、ダイヤ、費用負担など課題を解決していく必要がある。あらゆる機会に利用促進の働きかけをしていく。

「空き家対策について」

質問 空き家を活用し、古い住宅の機能や価値の再生を行う、空き家リノベーションの推進を、今後とも積極的に

進めるべきではないか。

町長 空き家バンクは利用者登録(194人)が登録物件(95件)を大きく上回っており、需要に対して供給が追いついていない。今後ともリノベーション等を推進し、登録物件と契約成立数を増やして空き家活用を進めていく。

質問 空き家の解体補助制度を検討すべきだ。

町長 何らかの行政支援が必要となる場合が考えられるが、あくまでも個人資産に対する助成となること、改修だけではなく除去を目的とすることから、近隣市町村等の動向を踏まえ、慎重に検討を進める。